

# DHEAの不妊治療における効果

## DHEAの服用量と副作用

1日1～3カプセル※（25～75mg）を食事と一緒に服用してください。※服用量は医師の指示に従ってください。

夕方以降の服用は副腎皮質の活動を高め不眠を起こす場合があります。朝食または昼食後に服用することを推奨します。男性ホルモンの影響により、脂性肌、ニキビが増える、体毛が濃くなる等の副作用が出ることがありますが、服用を止めるとすぐに元に戻ることが確認されていますのでご安心ください。

### ■ DHEA投与に向いている人

- ・ 血中DHEA-S濃度が低い
- ・ 年齢が30代後半以上
- ・ 卵巣機能が悪い（FSHやAMHに問題がある）

### ■ DHEA投与に向いていない人

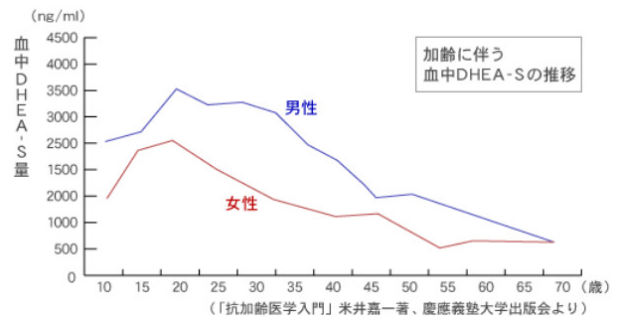
- ・ 男性ホルモン値（テストステロン）が高い
- ・ 年齢が若い
- ・ PCOS

## DHEAの効果

卵巣機能が低下すると卵が成熟せず排卵がスムーズにいかなくなります。このような場合、排卵誘発剤【経口薬：クロミッド】や【注射薬：FSH製剤、hMG製剤】などを使って卵巣を刺激し卵胞の成熟や排卵を促す治療を行うのが一般的ですが、排卵誘発剤の種類を変えても卵巣機能の向上が見られない「低反応卵巣」の場合妊娠は難しいとされてきました。

そこで血中のDHEA-S濃度が低い場合にDHEAを補充しホルモンバランスを整え卵巣機能を高めます。卵巣機能が高まることで排卵誘発時の卵胞数の増加や卵胞へのゴナドトロピン（FSHなど）の反応性が高まり、卵子の質の向上が期待できます。さらに卵胞・黄体ホルモン分泌が促進されるため子宮の状態が改善され着床率が高くなることも期待できます。

DHEAは「より質の高い卵」を育て、受精・着床における体内環境をより良い状態に整える作用が期待できます。



DHEA分泌量は20代でピークを迎えますが、その後減少し40代では約半分程度まで減少してしまいます。

## ARTでのpoor responderに対するDHEA投与の効果とその成績

最近では40歳以上の高齢不妊症患者および頻回の体外受精の不成功例、いわゆる反応低下群（poor responder）が増加している。これらの症例に対し、抗加齢ホルモンであるDHEAサプリメントを投与して卵巣機能の若返りを計り、ARTを施行する報告がみられてきた。当院でも2008年3月より、DHEAを50～70mg/日投与して、2～3か月間投与後にこれらpoor responderを対象に行ったところ60例中15例の妊娠例を得ることができた。ホルモンのにもほぼ全例に若返りがみられ、また採卵数や受精卵の質的改善もみられた。

第53回日本生殖医学会（平成20年10月22日；神戸）ソフィアレディスクリニック

## Update on the use of dehydroepiandrosterone supplementation among women with diminished ovarian function

卵巣機能の衰えた平均年齢42歳の89例の女性がDHEA75mgを4か月服用した。対照群に比べ妊娠率が有意に多かった。

Journal of Assisted Reproduction and Genetics Volume 24, Number 12, 629-634, DOI: 10.1007/s10815-007-9178-x

## Effect of dehydroepiandrosterone on oocyte and embryo yields, embryo grade and cell number in IVF

卵巣機能の衰えた平均年齢40歳の25人の女性がDHEA75mgを4か月服用し、その前後でIVFを受けた。DHEA服用群には有意に多くの卵胞が認められ、より多い受精卵が得られた。副作用はニキビと皮脂腺の分泌亢進があったが多毛は見られなかった。

Hum. Reprod. (2006) 21 (11): 2845-2849. doi: 10.1093/humrep/del254 First published online: September 22, 2006

Pure Encapsulations社は、  
全米医療用ベストサプリメント賞受賞



- ・ 原料からこだわった最高品質のサプリメント
- ・ 添加物や防腐剤等を含まない、安全で低刺激な製品